

Spatial Display

アート作品を介したコミュニケーションの空間を提案します。いわゆる「空間ディスプレイ」というものですが、ここでは、画家でありミクストメディアアーティストでもある tamaki の世界観に興味を持っていただける方と一緒に、オリジナル空間を作りたいと思っています。ミクストメディアとは、複数の性質の異なる素材や媒体を組み合わせることで表現されるアート作品、またはその技法を指します。2025 年時点の tamaki の作風は、イメージに沿って切り出した輪郭の中をモノクロで表現し、その影が光を放つ空間を作り、陰を主役とするものです。素材は、アクリル塗料、ベニヤ板、ミラーシートなど、手に入りやすく軽量なものであるため、大きく作ることができ吊るし展示などにも耐えることができます。現状は屋外向きではありません。今後、素材や作風は変化するかもしれませんが、それは追求の姿ですから、変化もまた受け入れ、常に「今」を表現したいと思います。tamaki 個人としては「驚かせること」が目的です。特に感想がなくとも「はっ」と息が漏れたのなら目的達成です。そして、tamaki の世界観にお付き合いいただく人の目的もまた達成できるよう、相談しながらのオリジナルの空間作りを一緒に楽しみませんか？例えば、バーや共用スペースなど、足を止めたり腰を据えたり待ち合わせをしたりする場所に、相互コミュニケーションツールとして、提案をしたいと思います。



作品の配置や照明の位置により、表情が変わります。

【目安】¥300,000～（最短納期2ヶ月先）

- 納期は状況によりますのでご確認ください。
- 内容やサイズ、規模によりお見積もりいたします。
- 材料費・加工費・デザイン費・制作費・照明調整費・その他必要経費・人件費などを含みます。
- 作品買取価格です。（補修や追加作業、必要経費は、別途請求となります。）
- ご相談、イメージ共有、お見積りは無料です。（必要経費は、規模により別途請求となる場合がございます。）

※記載情報は2026年末まで有効(約1年ごとに更新)
※制作拠点(八ヶ岳南麓、小淵沢)



現場を確認します。どのような空間としたいかヒアリングし、デザインを提案します。

デザイン決定後、材料を切り出します。



オリジナル作品として描きます。

光を反射させる素材などで制作します。



実験し、配置パターンを準備します。
完成形は現場で決定します。

